

全教神協広報

第一〇六号
全国教育関係神職協議会
〒一五二一〇〇五三
東京都渋谷区代々木一―二
神社本庁内

電話 〇三三三七九八〇二―
FAX 〇三三三七九八二九
題字 諏訪秀一氏

国の成り立ちと我々の誇り

全国教育関係神職協議会 副会長 富田 主計



宮殿下の「立皇嗣の礼」が斎行されます。

今年度は丁度戦後七十五年の節目でもあります。戦後、米軍占領下の学校教育では日本人（とドイツ人）は、世界の秩序を乱す全体主義・軍国主義の国だと教えられ、二度と平和を愛する国々の脅威にはさせないという戦勝国による懲罰的、一方的な「東京裁判」（注：裁判とは名ばかり）が行われ、日本国の真実は完全否定され、今日に至りました。

令和元年は、第二二六代の今上陛下御即位関連行事が次から次へとマスコミで報道され、国民の間に皇室と国の成り立ちについての関心が呼び覚まされた年でした。また、令和二年二月には七日の「北方領土の日」、十一日の「建国記念の日」、二十二日の「竹島の日」と、昨年に続き「日本国」について考える機会が多くありました。そして、二月二十三日は、今上陛下御即位後初めての「天皇誕生日」でした。四月十九日には秋篠

（二〇〇八）年の改訂の時でした。しかし、実践はまだまだです。

本年は『日本書紀』撰上以来、丁度千三百年の巡りあわせの年に当たります。「建国記念の日」は、戦前には初代神武天皇の橿原宮での御即位日の「紀元節」と呼ばれました。

グレゴリオ暦に換算すると紀元前六六〇年二月十一日となり、今年が紀元二六八〇年です。この紀元節が明治二十二年の大日本帝国憲法の発布の日とされました。

戦後、「建国記念日」制定に際し、議論の末、名称に「の」を挿入し、「建国記念の日」として昭和四十一年（一九六六年）六月二十五日、祝日法

改正案は成立しました。しかし残念ながら、成立後、この祝日に一度たりとも国としての記念行事は催行されたことはありません。

世界最長の一二六代に亘り、天皇を戴く歴史を連綿と刻んでいるのが我が国です。

我が国には建国の言い伝えが存在すること、及び、それを文字でまとめた『古事記』と『日本書紀』が存在することを尊重することが、私たちの心の拠り所、誇りの拠り所となるものだと思います。

歴史を奪われた民族は滅び、己の歴史を自ら蔑ろにした国家は皆衰頹の途を辿りました。

第六十一回 全国大会・中央研修会

本年の全国教育関係神職協議会全国大会を次の通り開催致します。

- 一、開催日 令和二年八月十一日（火）～十二日（水）
- 一、会場 ホテル・ルブラ王山
名古屋千種区寛光王山通八一―八
電話 〇五二七六二一三〇五
- 一、主 題 「輝かそう日本人の誇り
正そう日本の教育」
- 一、正式参拝 城山八幡宮
- 一、講師 基調講演
評論家・拓殖大学院客員教授 江崎 道朗先生
記念講演
作家 河添 恵子 先生



※正式な御案内は、五月下旬ころに各県教神協を通してお送りします。